

平成30年度
事業報告

社会福祉法人 仁和会
府中さくらの杜

総 括

平成30年度の利用者様の動きとしましては、4月に新たに2名の方が入所され34名でのスタートでした。退所の方は8月末日に1名、12月末日に1名あり、年度末時点で32名の方にご利用いただきました。

平成30年度は、年度途中で課題であった医療的ケアの必要な方の受け入れは、府中はるみ福祉園の建て替え後に行うとの法人の方針転換がありました。このことから府中さくらの杜では市内特別支援学校の卒業生を積極的に受け入れるとの方針を立てることとしました。

年度途中ではありましたが、入所に向けての実習生3名、見学者3名の方々を受け入れることができました。このことは次年度に向けての良い経験が出来たものと感じております。

前施設長（サービス管理責任者兼務）の年度早々の病気休暇により、急きょ新施設長の就任、主任のサービス管理責任者への兼務体制となりました。山積した課題に対して利用者様の安心・安全を第一に考えるとともに、職員の理解を得て業務を遂行していくことが重要と考えました。前年にできなかった第三者評価の受審。個別支援計画の立て直し等着実に実施してまいりました。今後につきましても安定した運営に向け努力してまいりたいと考えております。

目 次

第 1 章	施設運営の実施状況	2
第 2 章	障害福祉サービス	3
第 3 章	健康管理	6
第 4 章	相談、苦情対応、虐待の防止	6
第 5 章	家族との連携	7
第 6 章	援護の実施者、協力機関との連携	7
第 7 章	職員体制	9
第 8 章	会議・研修等	9
第 9 章	災害対策・事故対応	10

※年齢、実績等のデータは、特記がない場合は平成31年3月31日現在で計上。

第 1 章 施設運営の実施状況

1. 利用実績

(1) 利用定員	30名
(2) 利用現員	32名
(3) 欠員数	0名
(4) 新規利用者数	2名
(5) 退所者数	2名
(6) 長期欠席者数	0名

※府中市 28名、稲城市 1名、多摩市 1名、国立市 1名、立川市 1名

2. 利用者の状況

(1) 年齢階層別

年齢層	男	女	計
18～19	0	0	0
20～29	4	8	12
30～39	2	4	6
40～49	0	2	2
50～59	1	1	2
60～69	5	1	6
70以上	1	3	4
計	13	19	32
平均年齢	47.8歳	40.7歳	43.6歳

(2) 障害支援(程度)区分

程度	男	女	計
区分 1	0	0	0
区分 2	0	2	2
区分 3	5	4	9
区分 4	5	7	12
区分 5	2	2	4
区分 6	1	4	5
計	13	19	32
平均	3.92	4.11	4.03

(3) 延べ利用日数

程 度	男	女	計
区 分 1	0	0	0
区 分 2	0	6 1 0	6 1 0
区 分 3	2,0 1 8	1,6 1 2	3,6 3 0
区 分 4	4,0 6 5	5,6 9 1	9,7 5 6
区 分 5	1,7 0 2. 5	1,7 0 2. 5	3,4 0 5
区 分 6	1,5 0 8	6,0 2 8	7,5 3 6
計	9,2 9 3.5	1 5,6 4 3.5	2 4,9 3 7
平均支援区分	3. 9 2	4.1 1	4.0 3

(4) 日常生活動作

内 容	支援・助言	一部介助	全部介助
食 事 支 援	8	6	0
排 泄 支 援	4	1 1	0
着 脱 衣 支 援	7	8	0
歩 行 支 援	3	4	2
コミュニケーション支援	8	9	2
車椅子利用者	1	1	2
おむつ使用者	2	3	2

第 2 章 障害福祉サービス

1、 個別支援計画

個別支援計画は、サービス等利用計画書の作成、モニタリング時期に合わせ、利用者、その家族の要望を聞き取る面談を実施し、目標の達成度や課題を見直して適切な支援ができるようにまたニーズの実現に向けて作成しました。

また可能な限り、サポートにんな相談支援専門員に同席してもらい、サービス等利用計画の総合的な援助の方針との齟齬がないように努めました。

今年度は、年度途中のサービス管理責任者の交代により前年までの記録について不備が判明し、これについては利用者様保護者様に説明し改善を図りました。

2、日中活動支援

- 自主製品** ・エコハットブローチ、アニマルクリップ、ボンボンヘアゴム
シュシュ、ビーズアクセサリ、アクリルたわし、ティッシュケース
織物、一閑貼り、組みひも等
- 受託作業** ・いぶしの袋詰め、三色やすりの袋詰め
・ 公園清掃
- 創作活動** ・ 絵画、工作、紙すき、手芸など
- 運動活動** ・ 軽体操、ダンス、運動プログラム、散歩、周辺清掃
- レク活動** ・ 音楽、カラオケ、レクリエーション、DVD鑑賞、ドライブ
・ 外出活動、調理実習等

3、活動による収入と支出

・ 収入

	29年度	30年度
すずかけ公園清掃	942,840	1,232,160
自主製品イベント販売	170,740	89,020
自主製品委託販売	137,689	97,335
自主製品施設内販売	63,400	66,730
受託（下請け）作業	26,927	88,840
イベント収入	243,140	191,755
合計	1,584,736	1,765,840

・ 支出

	29年度	30年度
自主製品原材料	184,653	80,744
販売手数料	14,665	10,815
利用者工賃延べ支給額	1,200,300	1,482,680
利用者工賃延べ支給人数	436	389

	～2,000円	～3,000円	～5,000円	5,000円～
年間平均工賃月額	8名	9名	16名	0名

4、日課

時間	内容
9:00~10:00	利用者の受け入れ
10:00~10:30	朝の準備 体操・歌・朝礼
10:30~11:45	午前の活動
11:45~12:20	昼食
12:20~13:00	歯みがき・昼休み
13:00~14:30	午後の活動
14:30~15:00	帰りの準備 夕礼・体操
15:00~16:00	降園準備・送迎

5、平成30年度 年間実施行事

	行事	日程	30年度担当者
4月	桜まつり 農業高校との交流会	7(土)8(日) 23(月)	渡邊・施設長 施設長
5月	軽スポーツ大会	19(土)	井上・藤谷
6月	総合健診	11(月)12(火)13(水) 15(金)19(火)20(水)	長谷川・加藤
7月	寿町納涼盆踊り	28(土)29(日)	施設長
8月	商工まつり 夏期特別期間	3(金) 13(月)14(火)15(水)	施設長 藤谷
9月	にんな祭	8(土)	施設長・井上・藤谷・浅野
10月	福祉まつり	13(土)14(日)	井上・高橋・原
12月	クリスマス会	21(金)	高橋・浅野
1月	waiwai フェスティバル	19(土)20(日)	渡邊・高橋・原

第 3 章 健康管理

健康管理は下記のとおり実施しました。

1. 利用者の健康管理

(1) 入所時の確認

当施設利用開始に当たり、過去にかかった病気、既往症及び過去に接種した予防注射の確認、緊急時の連絡先など詳細な把握を行いました。

(2) 服薬の確認

年度初めに、服薬の状況を保護者様に確認し、服薬されている方の処方箋等を複写し、緊急時に備えました。

(3) 保健行事

①定期健診

毎月1回（不定期）に嘱託医による定例健康診断、健康相談を実施しました。

②総合健診

年に1回（6月）提携医療機関にて胸部レントゲン、心電図、採血、身長・体重測定、検尿を実施しました。

(4) 日々の視診について

日々の利用者様の体調の把握を行いました。

(5) 衛生習慣の確認

登園時、屋外活動より戻ったとき、手洗いとうがいをを行うよう促しました。

(6) 血圧測定

毎週一回実施し、平常値を把握。状況により嘱託医に相談し、保護者の方へ報告対応しました。

(7) 理学療法士指導

月1回理学療法士によるリハビリテーション指導を行いました。

3. 職員の健康管理

① 新規採用者の採用時健康診断および、年1回の定期健康診断を実施しました。

② 健康維持のため、適度な休息をとれる体制をとりました。

③ メンタルヘルスについては、ストレスチェックを全職員に実施し、早期に相談できるような体制を構築しました。

第 4 章 相談、苦情対応、虐待の防止

1. グッドパーソン

7月と1月に「法人グッドパーソン規程」に基づきグッドパーソンの方に来園していただき、施設の進捗状況を報告し、食堂にてみんなと一緒に昼食を食べていただきました。昼食後に利用者様または職員に日々の悩みなど聞き取りを実施しました。

2. 苦情対応

苦情については「法人苦情対応規程」に基づき下記のとおり体制整備を行いました。規程に基づく本年度の苦情はありませんでした。

役 割	氏 名	連 絡 先
くじょうかいけつせきにしや 苦情 解決 責任者	まつした たみお しせつちょう 松下 民夫 (施設長)	042-358-1170
くじょううけつけたんとしや 苦情 受付 担当者	わたなべ あきえ しゅにん 渡邊 章江 (主任) ふじや たく しえんいん 藤谷 卓 (支援員)	042-358-1170
だいさんしゃいん 第三者委員 (グットパーソン)	いで まさとし さま 井出 政俊 様 たなか まちこ さま 田中 真知子 様	042-364-0637 042-360-1294

3. 虐待の防止

平成30年11月、法人全職員に「障害者虐待防止セルフチェックリスト」を実施しました。平成31年2月法人内研修として、一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会岸部知佐子先生の講師により「アンガーマネジメント基礎研修」を法人職員・利用者家族へ実施しました。

第 5 章 家族との連携

1. 保護者会の実施状況

昨年度は、年2回実施し、情報を共有しました。(4/7,2/16)

2. その他

利用者およびご家族が日々の生活を安心して過ごせるように、ご家族と随時連絡帳などを通じて情報を共有して連携を図りました。また困り事などがある場合はその度相談に応じました。

第 6 章 援護の実施者、協力機関等との連携

1. 援護の実施者との連携

利用者の入所、退所に伴う障害福祉サービスの手続き等が適切に行えるよう連携し調整を実施しました。

2. グループホーム「せんげん」との連携

緊急時のバックアップ体制を整えているグループホーム「せんげん」との連携体制の確立や、日常的な情報交換を積極的に行いました。

3. サポートにんなどの連携

個別支援計画書作成およびモニタリング報告書の作成のための会議と面談のある時は、可能な限り、相談支援専門員に同席していただき、総合的な援助の方針との齟齬が無いように連携しました。

4. ボランティア、実習生の受入れを積極的に行いました。

(1) ボランティア

- ・毎週、1名のボランティアさんを受入れました。
- ・夏休みの期間には、府中市社会福祉協議会の主催している夏のボランティア体験において中学生・社会人のボランティアを受け入れました。(2名)

(2) 実習生

けやきの森学園高等部3年生1名、武蔵台学園高等部3年生1名、2年生1名の実習生を受け入れました。

5. 見学者の受入れ状況

- ・武蔵台学園やけやきの森学園など特別支援学校の生徒の見学を受入れました。
(6/28 武蔵台学園高等部1年 生徒18名・教員11名 6/28 府中市役所障害者福祉課新入職員4名 8/20 けやきの森学園高等部 生徒13名・教員10名)
※その他、個人的な見学者についても3名受け入れを行いました。

6. 地元町内会との連携

- ・寿町 納涼盆踊り大会準備参加 (7/6,7/21)
- ・寿町 納涼盆踊り大会参加 (7/28~29)
- ・寿町 自治会年末夜警参加 (12/18)
- ・寿町 町内会新年会参加 (1/26)

7. 府中市社会福祉協議会との連携

- ・わがまち支えあい協議会への参加
- ・赤い羽根共同募金参加
- ・社会貢献ボランティア参加 (府中第一小車椅子操作指導2名)

8. ディズニーリゾートアンバサダーの訪問

9/28 はるみ福祉園にてアンバサダーによるショーを開催。

第 7 章 職員体制

1. 採用

- ・浅野 智紀（常勤・生活支援員） 4月 1日付
- ・原 由美（常勤・生活支援員） 5月15日付
- ・力丸 俊平（非常勤・生活支援員） 6月11日付
- ・楠松 由美子（非常勤・看護師） 8月 7日付

2. 異動

- ・佐藤 正教（施設長） 5月31日付
（府中さくらの杜施設長から仁和会総務管理者付へ異動）
- ・松下 民夫（施設長） 6月 1日付
（府中はるみ福祉園施設長から府中さくらの杜施設長へ異動）
- ・井上 泰子（常勤・生活支援員） 11月30日付
（府中さくらの杜常勤生活支援員からせんげん非常勤生活支援員へ異動）

第 8 章 会議・研修等

府中さくらの杜の日常の運営、利用者援助、支援に必要な会議および研修等を、下記のとおり実施いたします。

1. 会議

- (1) 職員会議 12回(毎月第3火曜日)
- (2) 保護者会 年2回(4月、2月)
- (3) 管理職会議 毎月第2、最終木曜日等
- (4) 主任会議 12回(毎月第3水曜日等)
- (5) 安全衛生委員会 12回(毎月第3水曜日等)
- (6) 支援員会議 12回(毎月第2火曜日等)

2. 研修

(1) 法人内研修

- ・ 6/16 基礎知識の共通理解と基本理念（講師 堀井総務管理者）
- ・ 11/17 ケースカンファレンス（各施設の事例検討）
- ・ 1/10～3/28 自主研修 障害者理解他全11回（講師 堀井総務管理者）
- ・ 1/19 介護技術基本研修 内部講師
- ・ 2/16 虐待防止研修 アンガーマネジメント研修
（講師 日本アンガーマネジメント協会 岸部知佐子先生）
- ・ 3/16 喫煙及び運動について考える
（講師 府中医王病院長 仁和会産業医 島田幸男先生）

(2) 外部研修

- ・ 東京都社会福祉協議会初任者研修 1名
- ・ 東京都社会福祉協議会中堅職員研修 2名
- ・ 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修） 1名
- ・ 強度行動障害支援者養成研修（実践研修） 1名
- ・ 作業所等連絡会研修（交流分析について） 2名
- ・ 社会福祉施設長資格認定講習課程 1名
- ・ てんかん基礎講座 1名

(3) 文書研修

法人内委員会等の議事録、関係機関からの通達、冊子等の情報を回覧し、各自資質を向上させることに努めました。

(4) 実地研修

上記の机上の研修のほか、実地の場面での教育、研修（OJT＝オンザジョブトレーニング）を実施しました。

第 9 章 災害対策・事故対応

利用者の生命、身体および財産を保護するため、下記のとおり対策、訓練及び対応を実施しました。

1. 防火設備等の点検実施 年2回

2. 避難訓練等

以下のとおり防災訓練を実施しました。

	区 分	内 容
5月	自主防災訓練 5/11	火災発生、地震発生に備え実施。
7月	自主防災訓練 7/11	避難誘導の確認。AEDの使い方他。
9月	自主防災訓練 9/20	防火管理者不在のため実施できず。
11月	自主防災訓練 11/12	防火管理者不在のため実施できず。
1月	自主防災訓練 1/22	火災発生時及び地震発生時の流れの確認。
3月	総合防災訓練 3/29	火災発生により中庭へ避難。消火訓練実施。

3、その他

今年度、第三者評価の受審を行い、利用者調査、職員調査、訪問調査等を実施しました。結果については良好な評価を得ることが出来ました。